学校番号	1011

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	言語文化（大修館書店）						
副教材等	新常用漢字必携パーフェクトクリア　三訂版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・言語文化では、小説、古文、漢文など様々な文章を読み、語彙力や表現力の向上を目指します。
・すべての科目の学習の基盤となる力や社会人として必要な基礎的な国語能力を身に付けましょう。
・副教材を活用しながら、漢字や語彙を身に付けていきましょう。
・古典作品もたくさん学習していきます。歴史的仮名遣いなど中学校で学んだことをしっかりと復習しておいてください。
・単に板書を書き写すだけではなく、自分なりの考えを持つことやそれを表現することを大切にしていってほしいと思います。また、他者と協働する活動を行うこともあります。積極的に授業に参加してください。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要である基礎的な国語の知識や技能を身に付けている。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・古典の歴史的・文化的背景を知り、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な力であることを理解し、身に付けた知識や技能を適切に使うことができている。 我が国の歴史や伝統を重んじ、それらを継承・発展させていこうとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしようとするとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 歴史や伝統を重んじ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	日本語と外国語を比較してそれぞれの特徴を捉える ［教材］ 外国語の不思議・日本語の不思議	a: 日本語と外国語のそれぞれの特徴を捉えることができる。 b[書]:日本語と外国語を比較し、その共通点や相違点を表現の仕方を工夫しながら書くことができる。 c:日本語をより大切にしようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	【近代以降(小説)】 登場人物の描写に注目して文章を的確に読み取る。 ［教材］ 羅生門	a: 場面ごとの人物の心情の変化を読み取ることができる。 b[読]:人物の性格・心理・行動を的確に読み取ることができる。 c:人物の性格・心理・行動を自分に当てはめて考えている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート
	短歌や俳句についての技法や表現を理解する。 ［教材］ 短歌15首　俳句12句	a:作品にうたわれている情景や心情を読み味わうことができる。 b[読]:作品にうたわれている情景や心情を読み取ることができる。 c:短歌や俳句に親しみ、表現の特徴を理解しようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート
2	【古文】 歴史的仮名遣いを学ぶ。 古文に親しむ ［教材］ 宇治拾遺物語 児のそら寝 or 絵仏師良秀	a:読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。 b[読]: 歴史的仮名遣いのきまりを理解し、平易な古文の読解ができる。 c:古文に親しみをもち、話の面白さを味わおうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート
	【古文】 動詞の活用を学ぶ。 ［教材］ 徒然草、枕草子	a:表現の特徴を理解し、作品を読み味わうことができる。 b[書]:文章を読み、考えたことを他者に明確に伝わるように書くことができる。 c:作者の感動の内容を捉えようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート
	【古文】 当時の時代背景を理解しながら文章を的確に読み取る。 ［教材］ 伊勢物語	a:単語・文法・古典知識を理解している。 b[読]:物語の内容を読み取り、人物の関係を理解する。 c: 歌に込められた人物の思いを捉え、作品を読み味わおうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	振り返りシート
3	【漢文】 漢文の決まりについて学ぶ。 ［教材］ 論語	a: 訓読のきまりを理解する。また、単語・文法・古典知識を理解している。 b[読]:訓読のきまりについて理解し、訓読文を書き下し文に直すことができる。 c:漢文に親しみをもち話の面白さを味わおうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート
	【漢文】 漢文に親しむ ［教材］ 蛇足	a:訓読のきまりを理解する。また、単語・文法・古典知識を理解している。 b[読]:漢文を読んで話の内容を理解している。 c:漢文に親しみをもち話の面白さを味わおうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　　(　　) 時間

・書くこと　　…　（　　１０　　）時間
・読むこと　　…　（　　６０　　）時間